

薬剤師としてがんとともに生きる
患者さんの支えに

生涯でがんに罹患する確率は2人に1人と言われる時代です。当院は、地域がん診療連携拠点病院という役割から、薬剤師として医薬品の適正使用のために様々な業務を行う中で、多くのがん患者さんと出会います。抗がん剤治療中の患者さんの中には、吐き気や皮膚障害などで思うように治療が継続できない人が少なくありません。そのような状況の中で私は、薬剤師の専門性を活かして、抗がん剤による副作用の未然防止、早期発見・対応することで、多くの患者さんが抗がん剤治療を継続しながらよりよく生活できる方法や支援をしたいと強く思い、がん薬物療法に専門家を目指しました。

がん薬物療法の専門家への道は、とても険しく、知識の習得や臨床での経験など決して平坦なものでは



ありませんでしたが、その過程で、よりよい医療を提供するために治療選択の他、薬の減量や継続、副作用の予防や症状軽減について医師と議論する楽しさや難しさを経験することができました。そして、家族・職場の理解を得て、2023年4月にがん専門薬剤師の資格を取得することができました。【2023.5.1時点:6名(長崎県)】お世話になった方々への感謝を深めつつ、がんとともに生きる患者さんやそのご家族、職場を含め信頼され、ともに歩みたいと思われる人間になれるよう、これまでの経験や知識を還元していきます。

[薬剤部 吉野 走(薬剤師)]



TOPICS

前立腺癌治療に
手術支援ロボット「ダビンチ」導入



INFORMATION

お知らせ掲示板

[新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ]
面会等の当院の対応について

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したことに伴い、2023年5月8日以降、当院では以下のとおりに対応しています。



1 面会が可能となりました。ただし以下の基準があります。
・面会受付時間：14時～17時
・滞在時間：1日1回30分
・人数：2名様まで
※中学生以下の方の面会はご遠慮ください。

2 1階受付での入院患者さんへの荷物の受渡は終了しました。
面会時間内に患者さんに直接お渡しいただけます。

3 外来・検査・手術の付添は、1名まで可能です。

4 来院者(業者含む)は全員
・入館時の体温測定
・手指消毒
・マスク着用
引き続きご協力をお願いします。

5 入院前・検査前・手術前のコロナ検査は終了しました。

受診のご案内

[診療時間] 8:45～17:00

[受付時間] 予約のある方 予約時間にあわせてお越しください。
予約のない方 月曜～金曜 8:30～11:00

[休診日] 土曜/日曜/祝日/年末年始
※救急は随時受け入れています。

面会のご案内

[面会時間] 14:00～17:00 (1日1回30分まで)

[人数] 2名様まで

※1階受付の入院患者さんへの荷物のお預かりは、終了しました。面会時間内に直接患者さんにお渡しください。

・初診で紹介状をお持ちでない方は、選定療養費として別途7,700円(税込)をいただきます。

・再診予約時間の変更は、平日の14時～16時にお電話ください。(お電話口で診療科をお伝えください。)

・正面玄関は8時から開錠します。

・外来診療担当医表はHPに掲載しています。右のQRコードからご覧ください。

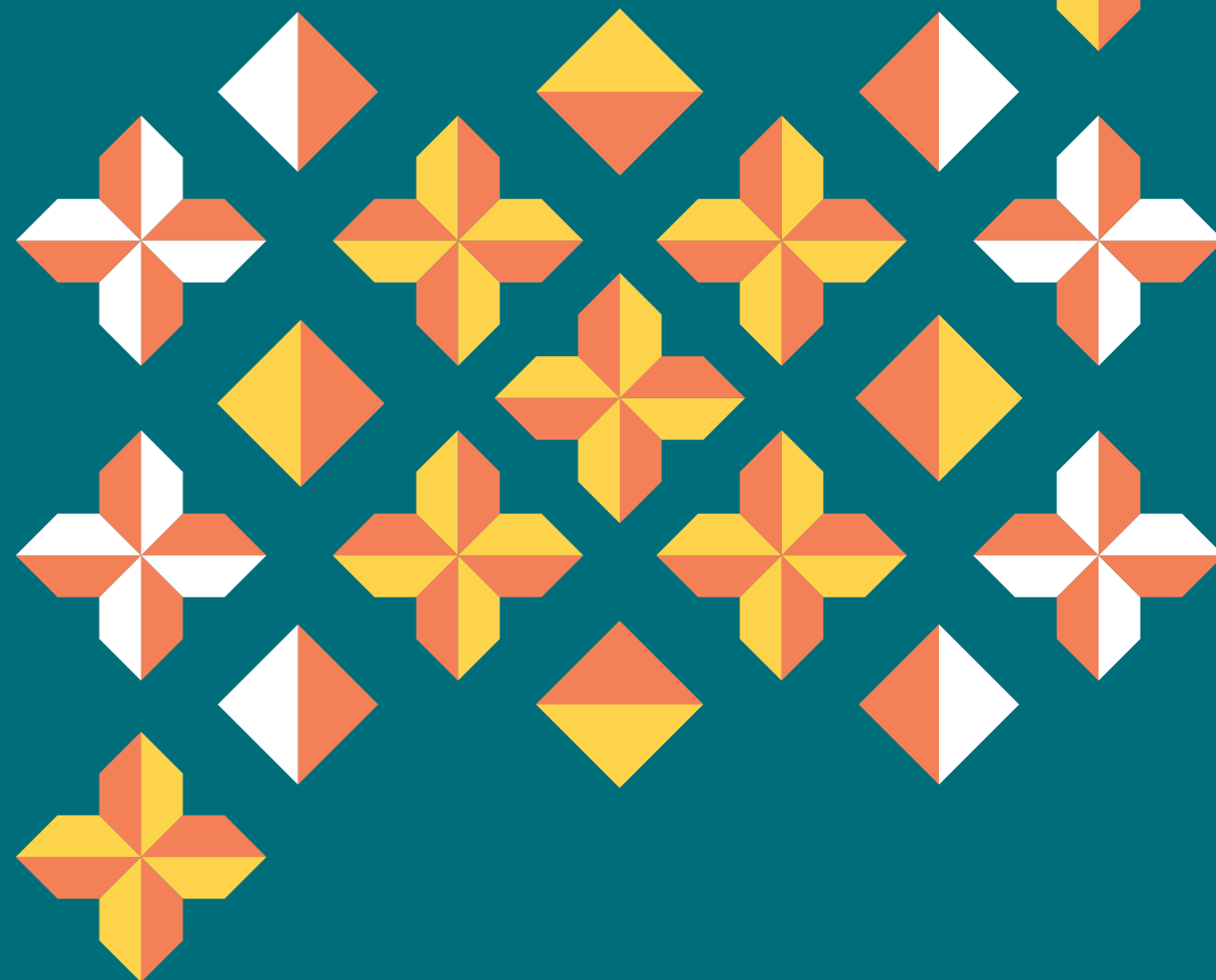


外来診療担当医表

電話でのお問い合わせ 095-822-3251 (代表)



発行・編集
長崎みなとメディカルセンター 総務課 広報担当



前立腺癌に対する ロボット手術始動

■「ダビンチ」を用いたロボット手術の導入

前立腺癌の罹患率が急速に増加していることをご存じですか？前立腺癌は男性癌のトップで、高齢になるにつれて罹患率が高くなります。高齢がリスクを高める要因として明らかになっており、この急速な増加は日本社会の超高齢化が一因と考えられています。

前立腺癌の治療法は、病期に応じて監視療法、手術療法、放射線療法、内分泌療法、化学療法など多岐に渡り、当院では放射線治療である「サイバーナイフ」を用いた治療を受けられることが特徴です。そして、この度新たに

2023年4月から「ダビンチ」を用いたロボット手術を開始しました。

■ロボット手術とは

ロボット手術とは、「ダビンチ」を利用して行う腹腔鏡手術のことです。ロボットの操作は、専門の訓練を受けた医師が行います。ダビンチには、突発的な動きを制御する機能や手ぶれ

MEDICAL
HOTLINE

診療 ホットライン

新規医療機器を導入！

防止機能など高精度な機能が備わっており、より安全・確実に手術を行えます。

また、ロボット手術は従来の開腹手術に比べて、手術創が小さい、出血量が少ない、術後の痛みを軽減、合併症リスクの回避、入院期間の短縮が図られるなど患者さんにとってさまざまなメリットがあります。

従来の治療方法と併せ、新たに導入したダビンチを駆使し、今後も患者さん一人ひとりにあった最適な治療を目指していきます。

① 担当医はサージョン
コンソールと呼ばれる
機械に座り、遠隔操作
で手術を行います。



▼ダビンチによる手術のイメージ



教えて！先生 すこやか 広場

【放置すると
恐ろしい痛風】



日常生活を取り戻しつつある今、飲み会や会食の機会が増えていませんか？皆さんもよくご存じの「痛風」。「痛風なんて痛みが治まれば大丈夫！」と考えている方は要注意です。

Q プリン体を多く含む食品を摂らなければ大丈夫ですか？

A プリン体を多く含む、レバー・甲殻類・アルコール飲料・高カロリー食等の過剰摂取を避けることはもちろん大切です。ですが、最も大切なことは、毎日バランスの良い食生活に気を付け、食べ過ぎや飲み過ぎに気を付けることです。また、激しい運動の後は一時的に脱水により尿酸が増加するため、痛風発作が起こりやすくなります。こまめに水分を補給し、尿の排出を促すようにしましょう。健診で尿酸値が高めの方は、特に注意が必要です。

Q 痛風を放置するとどうなりますか？

A 痛風や痛風の原因である高尿酸血症を放置していると、以下のような危険な病気へと進みやすくなります。

- 尿酸結晶による腎不全などの慢性腎臓病、尿路結石症
- 脳出血や脳梗塞などの脳血管障害
- 心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患
- 変形性関節症

このようなリスクを踏まえ、気になる症状があったり、尿酸が高いことを指摘されていたりする方は早めに受診をして適切な治療を受けましょう。



【記事監修：糖尿病・内分泌内科】

あなたのまちの お医者さん



ほんだ内科・内視鏡クリニック
院長 本田 徹郎 先生

■開業日

2003年医学部を卒業後、離島医療・中核病院での勤務を経て2023年3月に開業しました。

■医院の特徴

- ① 幅広い内科診療に対応
 - ② 検査機器が充実
 - ③ 楽さを追求した大腸内視鏡検査(トイレ付き個室完備)
 - ④ 最新のCT完備、大腸CT検査・カプセル内視鏡検査も可能
 - ⑤ 膵臓カメラ(超音波内視鏡検査：EUS)ができる
 - ⑥ 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)への専門診療
- この6点が当院の特徴です。地域の健康増進に真摯に取り組んでいます。

■趣味

スポーツ観戦と音楽鑑賞です。B'zのファンで、クリニックでもB'zの楽曲を流すことがあります。

JR長崎駅前の酒井クリニックビル・3階にあります。一般内科診療から内視鏡検査(胃カメラ・大腸カメラ、超音波内視鏡)、炎症性腸疾患の専門外来まで行っています。病気を問わずみなさんの健康の問題をあらゆる角度から解決することを目指しています。お気軽にご相談ください。

■医院の基本情報

[住所]
〒850-0058
長崎市尾上町 8-44
酒井クリニックビル3F
(長崎駅から徒歩3分)
[電話番号] 095-895-5577

[診療科目]
内科、消化器内科、内視鏡内科

[受付時間]
午前診療受付時間：8:30~12:00
午後診療受付時間：16:00~18:30

[診療時間]

	月	火	水	木	金	土
9:30-12:30	○	○	○	○	○	○
16:00-19:00	○	○	-	○	○	-

内視鏡検査(午前)8:30-9:30
(午後)13:00-16:00

[休診日] 日曜、祝日、水曜・土曜午後



院内探検隊！ サイバーナイフによる前立腺癌への 定位放射線治療を探検！

YouTubeで
動画配信中！



当院の前立腺癌への放射線治療は、サイバーナイフによる定位放射線治療です。一般的な通常分割照射に比べ、高い治療効果と治療期間を短くできるという特徴があります。また、動きの補正とスパーサーを使用することで高精度・低侵襲な治療が可能です。仕事をされている方、離島や遠方から来院される方、ご高齢の方にとって、大きなメリットになっています。詳しくはQRコードから動画をご覧ください。

※スパーサーとは：前立腺癌の放射線治療の際、前立腺と隣接している直腸に起こる副作用を防ぐためのものです。

■サイバーナイフ治療の特徴

治療方法	通常分割照射	当院のサイバーナイフ治療	
		中等度寡分割照射	定位放射線治療
照射回数	38回	15回	5回(隔日)
治療日数	8週間	3週間	2週間

[放射線部(放射線治療室)]

季節の 知恵袋



あなたの 肝臓は大丈夫ですか？

7月28日は「日本肝炎デー」

7月28日は「日本肝炎デー」に制定されています。国や医療機関などが協力し、肝炎の病態や知識、予防、治療に係る正しい理解が進むよう普及・啓発を行い、肝炎ウイルス検査の受検が促進されています。

この機会に肝炎ウイルス検査を受けよう！

肝臓は、お腹の右上、肋骨の間に収まっている1kg以上の大きな臓器です。肝臓には身体に必要な様々な物質を作ったり、有害な物質を分解したりするなど、生命を支えるための重要な働きを担っています。この肝臓の細胞が壊されている状態が肝炎です。

肝炎の原因はいろいろありますが、現在、日本で問題になっているのが、B型あるいはC型肝炎ウイルス感染による肝炎です。肝炎ウイルスのキャリア(ウイルス保持者)は、B型で約110万人、C型は約90万人と推定され、肝炎を発症している患者さんはB型で約19万人、C型で約30万人と推定されています。肝臓は「沈黙の臓器」と言われており、ウイルスに感染していても、症状が出にくく、自分では気づかないことがあります。肝がんの約8割は肝炎ウイルスが原因と言われており、ウイルス感染を早めに発見し、適切な検査、治療を受けることが肝がん予防にもつながります。

肝炎ウイルス検査は、血液検査で調べることができますので、今まで受けたことがない方は一度は病院で検査を受けましょう。



[消化器内科 医長 山島 美緒]